

会員及び会員事業所優良従業員表彰式



9月18日、半田商工会議所で「優良従業員表彰式」が執り行われ、各事業所に貢献のあった70名の方が表彰されました。その中に丸小野せつ子さんの姿がありました。

丸小野せつ子さん

「かつては専業主婦として過ごしていましたが、主人が重い脳の病から奇跡的に回復した時に、何か少しでも社会に役立ちたいという思いにかられ、りんりんに入会しました。以後20年余りを、ヘルパーの仕事に従事していましたが、今回の受賞は思いがけなく光栄であります。利用者さんがその人らしく生きらえる様に傍らに寄り添う介護の仕事に、やり甲斐と誇りを感じています。人生経験豊富な利用者さんからは、多くのことを教わってきました。



日本福祉大学 サービスラーニングで学んだこと

たくさんの子どもたちとなかなか関わることがない為、初めは戸惑いなどがありました。また、企画を通して私たちがどのような進め方をすると子どもたちは興味をもってくれるのかなどを学ぶことができ、とても濃い5日間でした。

林 実佑

子どもたちと5日間過ごすなかで「子ども」だから「職員」だからということに関係なく、対等に接する事が大切だと気付きました。学び考える事が多い5日間でした。

山田 有沙



林さん 山田さん 後沢さん

5日間の活動をさせていただこうか、子どもたちに合わせた企画の立て方や進め方を学び考えることができました。たくさんの子どもたちとの交流もこのような機会でないとなかなか出来ない経験でした。後沢菜々子

NO.81

令和元年(2019) 10月

発行／特定非営利活動法人 りんりん
半田市岩滑高山町5丁目4番地
TEL(0569) 21-3646 FAX(0569) 32-6623
http://rinrin.or.jp E-mail npo@rinrin.or.jp

ありがとうございます
皆さまのあたたかいご支援が
りんりんを支えています。

令和元年度賛助会員

石川 雅子 (敬称略)

ご寄付ありがとうございます

杉 文雄 中島 和子 村上 光男
森 徳夫 渡邊 友治
株イシハラフード 半田南ロータリー (敬称略)

りんりんのできごと

りんごクラブ

7・8月 ・カレーナイト・流しそうめん ・りんご祭り
・絵画教室 ・防災教室 ・名古屋市水族館へ遠足
・KI酢NAプロジェクト(お酢ドリンク体験)

9月 ・駄菓子屋さん ・9/17～10/4 矢勝川のゴミ拾い
りんごびあであそぼ ・パン作り ・手型アート
やなべっ子食堂 7/6 20名、8/3 44名、9/7 35名
やなべっ子ハウス 夏休み教室(学習支援)・さをり織り教室
やなべ小町 お手玉大会団体3位・片手3個ゆり久保秀子さん優勝

～ヘルパー研修会～

7月 普通救命講習 43名
9月 精神保健福祉士の役割 33名

～研修生・実習生受け入れ～

愛知県2年目職員研修 12名
日本福祉大学生「サービスラーニング」 3名
半田農業高校生「介護体験デイサービス実習」 10名
半田中学校生「職場体験」 6名

多世代交流事業

	7月	8月	9月
生き活きサロン	105名	75名	104名
さをり織り	43名	15名	30名
絵 手 紙	23名	8名	21名

(R1/9月末現在)

会員数

賛助会員	利用会員	協力会員	合 計
27名	110名	102名	239名

(R1/9月末現在)

特定非営利活動法人 りんりん

りんりん

「グッドガバナンス認証 取得!!」



りんりん会報No.80でお伝えしましたが、一般財団法人非営利組織評価センターに組織評価の申請をしておりました。

ベーシック評価とアドバンス評価の基準を満たし、認証審査を経てグッドガバナンス認証を県内2番目、全国では11番目に取得することができました。この認証決定の吉報は、さわやか福祉財団主催の「いきがい・助け合いサミットin大阪」に参加しているときに届きました。

この認証は市民活動を支援する新たな財源として休眠預金の活用がはじまるにあたって、法人の信頼性を「見える化」し、幅広い支援を継続的に獲得できることを目指しています。

りんりんは、1994年にひとり暮らしの高齢男性が退院した後の在宅生活を支えるために、7人の主婦が支援を始めたのがきっかけです。以後25年、法人として手探り状態で走ってきました。その間、利用会員・賛助会員・協力会員の皆様のご協力があって続けることができました。改めて御礼申し上げます。

サミットは2日間の日程で開催され、全国から3,300人の方が集まり「生活を支え合う仕組みと実践」というテーマで54分科会の実践者報告がありました。

地域の課題は複雑・多様化してきている上に「支える側」の人員不足も深刻化しています。これらの報告の中で、自分たちの地域をどうしていきたいのか?地域の方とどう取り組んでいくのか?を模索し、柔軟な発想で社会的価値の創造力をもち「あつたらいいな、できたらいいな」をかたちにできるよう活動していきます。

りんりんが地域にあって良かったと思っていただけるよう努力してまいりますので今後もご協力、ご支援の程よろしくお願ひいたします。

理事長 渡邊 千恵

りんごクラブ 夏休みの思い出



夏休み恒例の流しそうめん



ミツカン KI酢NAプロジェクト



りんご祭り



夏休み 岩滑小学校プール



名古屋港水族館へ遠足

デイサービスセンター 盆踊り



青山女性会の皆さんと



利用者の皆さん



愛知県職員 2年目研修の感想

半田保健所 総務企画課

松下 孝

りんりんの研修を終えて、自身の接遇内容や応対スキルにはまだ改善の余地があることに気付かされました。思いやりと助け合いの精神がりんりんには息づいており、子どもたちやご年配の方々と接する中で行政職員としてだけでなく一人の人間として自分に足りないものがいろいろと見えてきました。今回のNPO研修での経験をしっかりと自分の血肉にしていきたいと考えています。

「りんりん」は漢字にすると「隣隣(となりととなり)」で「りんりん」であると思っております。りんりんが、今後も地域の支え合いの場であり続けることを祈念しております。

半田保健所 試験検査課

深谷 美季

りんごクラブやデイサービスで働く中で、小学生や高齢者の方々と交流させていただきました。思いやりの心や感謝の気持ちが心温かい人間関係を築いていること、また互いに支え合うことの大切さを実感しました。自ら積極的に交流し、互いが思いやるつながり作りを大切にしていくと改めて思いました。

西三河農林水産事務所 建設課

石黒 純也

子どもたちのパワーに圧倒され、あっという間に研修が終わってしまいました。また、普段接することのできない高齢者との交流はとても貴重な経験となりました。

職員の皆様の細やかな気配りがとても印象的でした。

半田保健所 健康支援課

石川 瑛子

子どもや高齢者の方との交流を通して、多くの学びとパワーをいただくことができました。また、職員の方が生き生きと活動されていることがとても印象に残っています。現場で利用者の方や職員の方とお話しする中で得られたあたたかさを、今後の業務に活かしていきたいです。

政策企画局 国際課

太田 貴大

通常の業務では決して経験できない濃密な4日間でした。相手が真に必要としているものは何なのか、絶えず考えて行動している職員の皆様から、多くのことを学ぶことができました。

半田保健所 健康支援課

三宅健太郎

子どもや高齢者の方との交流から、たくさんの学びと元気をいただきました。また、職員の方々が利用者一人一人を尊重し、その特性に合わせた支援をされている姿はとても印象的でした。

愛知総合工科高等学校

三輪 知里

小学校1年生の子どもから90歳を超えた高齢者と関わることができ、新鮮でとても楽しい経験ができました。職員の方々が明るく元気で、現場の雰囲気がとても良く、利用者の方々が楽しく過ごしているのが伝わってきました。

知多県民センター 環境保全課

松下 由梨

普段は関わることの少ない高齢者の方や小学生たちとふれ合うことができ、貴重な経験となりました。年齢に合わせた対応はもちろんですが、個人に合わせた対応は難しいと感じる場面も多く、職員の方々の対応力を参考に、業務にも活かしたいと思います。

知多建設事務所 河川港湾整備課

岩田 知之

研修を通じて、高齢者の方から子どもたちまで様々な年代の方と接することができました。りんりんの職員の方がそれぞれの年代の方に対して目を配り、とても明るく活躍されているのが印象的でした。

名古屋南部県税事務所 徴収課

林 雅也

普段の業務では、あまり関わることのできない小学生や高齢者の方と接することができ、貴重な経験となりました。職員の方の話し方や気の配り方など、コミュニケーションのとり方がとても印象に残りました。

知多農林水産事務所 総務課

赤座 里奈

どの施設を訪問しても、あたたかな雰囲気がありました。職員の方々の傾聴の姿勢から生まれるものなのだと思います。りんごクラブの遠足にも同行させて頂きました。50人以上の子ども達が遠足を楽しむことができたのは、事前からあらゆる事態を想定し、計画を進めてきた職員の方々の配慮があるからこそだと思いました。

産業技術センター 総務課

向 真宏

普段あまり関わることのない小学生や高齢者の方と接することができ、貴重な経験となりました。話題に詰まるなど、対応に戸惑ってしまう時がありましたが、職員の方は子どもたちに時には厳しく接したり、高齢者の方たちにはさりげなく細やかな気遣いをされていて、非常に勉強になりました。また、福祉現場の実情や、国や県の施策と現場のギャップなどを話していただきました。

